

英語で社会学 I

科目ナンバリング SOC-110

選択 2単位

佐藤 齊華

1. 授業の概要(ねらい)

とりあえず、英語は道具です。何のための？ 一使い途はもちろんいろいろありますが、この授業では社会学を学ぶための道具、つまり社会/世界について知り、考え、語るための道具として使います。道具として使いながら磨きをかけ、社会/世界に関するこれまでとは別の見方・関わり方を見つけていきましょう。

英語には自信がない、日本語でも難しいのに「英語で社会学」なんてできるわけがないー そんなふうに思う方でも、大丈夫。授業は基本的に英語を使って行いますが、高校までの英語課程を修了しており、そして何より英語を使いたい、使えるようになりたいという意欲があれば、いわゆる英語力のレベルを問いません。そもそも、学ぶことはコミュニケーション。コミュニケーションに必要なのは単なる語学力ではなく、人や社会に対する関心・問題意識、開かれた姿勢、そして何よりコミュニケーションへの意欲それ自体です。いつもとは一味違った英語でのコミュニケーション、グループやペアでのワークやディスカッション等を通じて、「社会学する」ことを実践してみましよう。

2. 授業の到達目標

- ・英語を使って、社会/世界についての基礎知識を広げる。
- ・英語を使って、社会/世界について情報を獲得し、考え、発信することができるようになるための基礎を修得する。
- ・他者とコミュニケーションし協働するスキルを向上させる。

3. 成績評価の方法および基準

授業内で行う様々な活動への参加が単位修得の前提です。授業内のパフォーマンス(50%)、毎回授業後の課題・テスト(50%)を総合して評価します。英語を使って、社会(学)をめぐる実りあるコミュニケーションをいかにどれほど行なえたかが評価の基準となります。ペーパー・ベースの期末試験は行いません。

4. 教科書・参考文献

教科書
特になし。

5. 準備学修の内容

授業内で配布するプリントを読み、そのなかで提示された課題を行うこと。

6. その他履修上の注意事項

- ・授業内の双方向コミュニケーションを重視した授業となるため、履修希望者が20名を超える場合は履修者の抽選を行います。
- ・履修者の社会についての知識、英語のレベルは様々です。各自が自分の今のレベルから一歩でも二歩でもステップアップできるように、他人と比べず、しかし他人から学びつつ、あきらめないで自分の向上をめざしましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 <オンライン授業>イントロダクション:授業案内
- 【第2回】 英語で社会学する(1)「社会」って何?
- 【第3回】 英語で社会学する(2)「近代」とはどんな時代か?
- 【第4回】 英語で社会学する(3)メディアが「フェイク」を伝えるとき
- 【第5回】 英語で社会学する(4)誰も奪えない、私の尊厳
- 【第6回】 <オンライン授業>英語で社会学する(5)なぜなくなる? ステレオタイプ
- 【第7回】 英語で社会学する(6)多様性が豊かさを生む
- 【第8回】 英語で社会学する(7)愛とおカネの間
- 【第9回】 英語で社会学する(8)みんなでフェミニズム!
- 【第10回】 英語で社会学する(9)障害は社会がつくる
- 【第11回】 英語で社会学する(10)教育は大事、だけど…?
- 【第12回】 英語で社会学する(11)グローバル化する世界
- 【第13回】 英語で社会学する(12)肌の色が問題ですか?
- 【第14回】 英語で社会学する(13)暴力と不正義を超えて
- 【第15回】 振り返りと展望